



県青少年赤十字賛助奉仕団と吉野中学校の生徒たちが育てた「サツマイモ」の出発式の様子。平成24年度から同奉仕団が東日本大震災で被災した子どもたちへ贈るために栽培しており、今年度は、岩手県の子どもたちに届けました。

(大船渡市の子どもたちからお礼状も届きました！ (一部抜粋) ▶)

皆様が心を込めて作られた「紅さつま」は味は  
とても美味しく、愛情がこもっていました。  
私達はこれからも皆様にいただいたこの愛情を  
忘れず、そしていつかは恩返しをしたいと  
思います。本当に有難うございました。  
大船渡市立大船渡中学校生徒会一同

## CONTENTS

- 2 新年のごあいさつ 日本赤十字社鹿児島県支部長
- 3 九州八県赤十字大会が開催されました  
NHK海外たすけあい街頭募金を実施！
- 4 日本赤十字社九州八県支部合同災害救護訓練
- 5 第4回鹿児島県ヤング献血フォーラム (鹿児島県赤十字血液センター)
- 6 認知症への理解を深めよりよいケアを目指して (特別養護老人ホーム錦江園)
- 7 さつまいもを収穫しました！ (特別養護老人ホーム錦江園)
- 8 お知らせ 赤十字救急法救急員資格継続研修

## 新年のごあいさつ



日本赤十字社鹿児島県支部  
支部長 伊藤 祐一郎

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様方には、日頃から赤十字事業への深いご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、国内において、台風8、11、12号の来襲や局地的な短時間大雨、竜巻や集中豪雨により大きな被害があり、さらには、9月の御嶽山噴火では、戦後最悪の死者数（57人）となりました。

日本赤十字社では、これらの災害発生時に医療救護班を派遣し、被災現場や避難所での巡回診療などを行うほか、被災者に対してこころのケア活動を行うとともに、赤十字奉仕団や防災ボランティアと連携し、被災者への救援物資を届けるなど各種支援活動を行ってきました。

一方、鹿児島県においては、7月に台風8号、10月に台風19号が上陸するなど、台風の多い年でありました。幸いなことに、医療救護班が出動する事態には至りませんでした。被災された方々に対して、毛布や救急セット等の災害救援物資をお届けしました。

海外に目を移してみると、中国雲南省での地震災害や、西アフリカでのエボラ出血熱の大流行、悪化の一途をたどるシリアやイラクなどの中東情勢など、各地で甚大な被害が発生しています。このような状況の中、日本赤十字社は189の国や地域に広がる世界的ネットワークを活かしながら、被災者への医療や衣食住の支援といった緊急救援だけでなく、その後の復興支援や防災を通じた地域の基盤づくりなど、包括的な災害マネジメントにも取り組んでいます。

日本赤十字社が行う、これらの様々な活動は、県民の皆様方の温かいご支援によって支えられております。

本年も昨年に引き続き、「人道」の旗印の下、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動を積極的に展開してまいりますので、何卒ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年が平和で穏やかな一年となりますよう、皆様方のご多幸とご健勝を祈念し、新年にあたってのごあいさつとさせていただきます。



福岡国際会議場（福岡市）にて

## 九州八県赤十字大会が開催されました！



11月13日（木）、日本赤十字社名誉副総裁である常陸宮妃殿下のご臨席のもと、「平成26年度九州八県赤十字大会」が開催されました。

大会では、赤十字事業に功労があった方々に対し、常陸宮妃殿下より赤十字有功章が授与され、大塚副社長より日本赤十字社感謝状が贈呈されました。鹿児島県からは59名が参加し、金色有功章を3名、銀色有功章を8名、日本赤十字社社長感謝状を2名の方がご受章されました。

来年度（平成27年度）は、鹿児島県にて開催されることとなっています。



NHK海外たすけあいキャンペーン

## 県内6カ所で街頭募金活動を実施！

世界各地で起こる災害や紛争、飢餓や病気などで苦しんでいる人びとを救うために、日本赤十字社が毎年12月に日本放送協会と共同で実施している「NHK海外たすけあい」キャンペーン。

当県支部では、今年度、県内6カ所で街頭募金を実施しました。青少年赤十字メンバーや赤十字奉仕団に加え、かねてより赤十字事業にご協力いただいている久光製薬株式会社鹿児島支店の職員の皆さまなど、総勢140名が街頭に立ち、総額248,800円の募金が集まりました。ご協力、誠にありがとうございました。



街頭募金の様子（山形屋周辺）

<街頭募金実施状況>

実施日	場所	募集中額
12月7日（日）	A-Zはやと	11,278円
	ニシムタ加世田店	28,121円
12月14日（日）	プラッセだいゆ鹿屋店	21,642円
	プラッセだいゆ川内店	55,042円
12月20日（土）	イオン鹿児島店	30,227円
12月23日（火・祝）	山形屋周辺 （中町ベルクアーケード・金生通りアーケード内）	102,490円



ご協力ありがとうございました！



九州各県の赤十字が熊本に集結！

## 平成26年度日本赤十字社九州八県支部合同災害救護訓練

12月7日（日）～8日（月）、九州各県の赤十字が熊本県に集まり、合同災害救護訓練を実施しました。

この訓練は、大規模な広域災害を想定し、九州八県の赤十字施設が連携して取り組む救護活動の確立を目的に、平成7年から毎年九州各県で行われており、本年度は熊本県の布田川・日奈久断層帯を震源とする地震が発生し、各地で甚大な被害が発生したという想定で行いました。当県支部からは、鹿児島赤十字病院の救護班要員5名と、災害対策本部の支援要員や訓練の運営等に関わる職員5名が参加しました。



赤十字の災害対策本部の運営



陸上自衛隊との連携

1日目の実動訓練は、昨年度に引き続き各本部（支部災害対策本部・現地災害対策本部）の運営と役割、救護所の運営と役割、通信システムの確保を主眼に行われました。

また、防災関係機関との連携についても新たに盛り込まれ、陸上自衛隊西部方面隊、熊本県警察本部、熊本市消防局、熊本県、熊本市も参加し、現地災害対策本部や現地指揮所での調整、救護所の共同運営なども行われました。

各防災機関との連携は、災害救護活動では不可欠であり、相互の連携や協力内容を確認するたいへん有意義な訓練となりました。

2日目の分科会と全体会では、訓練参加者（プレイヤー）と運営者（コントローラー）、評価者がそれぞれの立場で訓練を振り返り、活発な意見が交わされました。この評価・検証の内容については、今度の救護活動に活かし、災害対応能力の強化につなげていきます。



分科会の様子



鹿児島県赤十字  
血液センター

## 第4回鹿児島県ヤング献血フォーラム 若者目線で考え、若者から拡散する

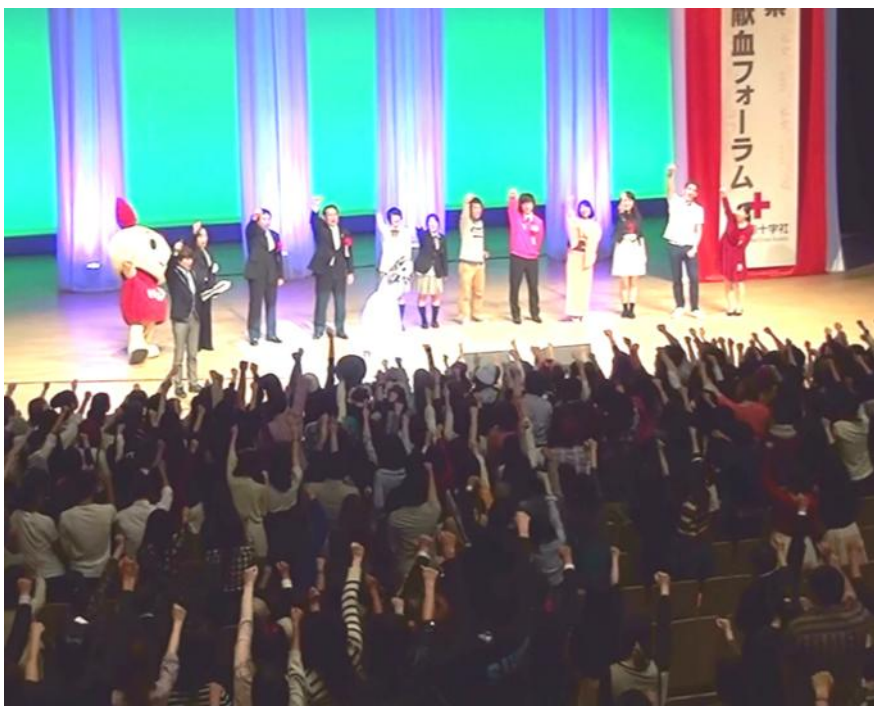
当日は15歳～29歳までの若者603名のご参加をいただきました。

第一部はトークセッション。登壇された若者は、「どうしたら若者の献血が増えるか」「なぜ若年層の献血が重要なのか」などについて議論しました。また、さまざまなボランティア経験等を振り返る中で、他人に役立つ行動がいかに重要であるかを再認識いたしました。

第二部はアーティストのchayさんが登場。chayさんにとって献血とは？と問いかけると、「思いやりと絆です」と答えてくださいました。ミニライブはchayさんと参加者の掛け合いもあり、参加者総立ちの大盛り上がりとなりました。最後はchayさん、DJポッキーさん、登壇者のみなさんで、献血に対する決意表明をし、大盛況のうち本フォーラムは幕を閉じました。

Chayさんのライブを楽しんでもらったのはもちろんのこと、献血についても十分に理解していただき、それを「シェア」して、周りの人に伝えてもらいたいと思います。

私たちは、フォーラムなどを通して若者がボランティアや利他の心を学び地域社会に貢献できるよう、取り組んでいます。





特別養護老人ホーム  
錦江園

## 認知症への理解を深めよりよいケアを目指して 全国赤十字老人福祉施設研修会を鹿児島で開催！

1月20日（木）から21日（金）までの2日間、錦江園が当番施設となって、「平成26年度第2回全国赤十字老人福祉施設研修会」を鹿児島県赤十字会館と錦江園で行いました。

この研修会は、日本赤十字社の全国9つの特別養護老人ホームの各部門職員の技術向上と円滑な施設運営を目的に、年2回各施設持ち回りで行われているものです。

今回は錦江園が当番施設となり、各特養から34人の職員と、錦江園から36人の職員が参加しました。

1日目は、「認知症による行動障害のある入居者様への支援について」というテーマで、各施設から提出された事例検討シートを基に、3施設が事例発表を行い、外部講師としてお招きした特別養護老人ホーム鹿屋長寿園（鹿屋市）の林田貴久施設長からアドバイスをいただきました。



グループワークの様子



全国の施設との活発な意見交換

その後、林田施設長により「認知症の理解とケア」というテーマで講演とグループワークを行いました。

2日目は会場を錦江園に移し、施設見学を行ったあと、介護、生活相談、調理、事務の4部門に分かれて分科会を行い、事前に提出された議題に沿って意見交換を行いました。各施設とも様々な課題を抱えており、参加者は所属する施設の取り組みを紹介し、また他施設の事例にも耳を傾けながら活発に情報交換を行いました。

各施設の職員たちは2日間を通しての意見交換や、全国の特養職員との交流で得たことを、今後のよりよい施設運営に活かしていけるものと思います。



研修会参加者の皆さん



特別養護老人ホーム  
錦江園

## 錦江園で育てた秋の味覚！ さつまいもを収穫しました!!

錦江園の園庭の一面には畑があります。ひまわりやコスモスが咲き始めた7月に植えたさつまいもが11月に入って収穫の時期を迎えました。

大雨による畑の水没、カラスの被害などがあり、大きく育っているのか不安を抱えながら迎えた収穫の時。ユニットごとに日にちをずらして入居者の皆様と職員で掘り起こしていくと、親指大ほどの小さなものから15cmくらいの大きなものまでサイズはバラバラでしたが予想を超える収穫となりました。

入居者の皆様も手を真っ黒にしながつツルや根を切ったり、袋詰めしたりといった作業を楽しんでおられました。かつて畑仕事をされていた入居者様も多く、ある方から「こん畑は肥料をまごたね(間違えたね)」といったご指摘もいただき、大変賑やかな収穫となりました。

収穫したさつまいもは食卓に提供されました。



イモを掘り起こす作業は重労働



おイモを手に笑顔があふれます



久々の畑仕事で手が真っ黒に!



なかなか取れない根っこに悪戦苦闘

# お知らせ

**赤十字救急法救急員資格取得者対象!!**

赤十字救急員の資格には有効期限があります!

## 赤十字救急法救急員資格継続研修

赤十字救急法救急員の資格を取得された方で資格取得後2年以上経過し、当該資格有効期間内の方はこの研修を受講していただくことにより資格をさらに3年間継続できます。

開催日：2月15日（日） 10：00～16：00

場所：赤十字会館 4階 赤十字教室（鹿児島市鴨池新町1-5）

対象：赤十字救急法救急員資格取得者で資格取得後2年以上経過し、当該資格有効期間内の方

※有効期限が切れた方は受講できません。

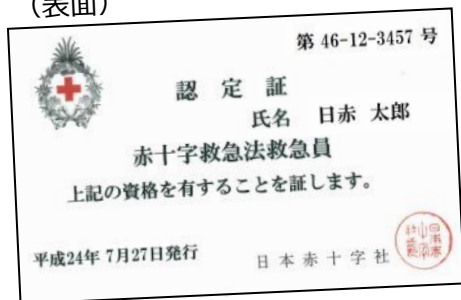
定員：30名

受講費用：800円

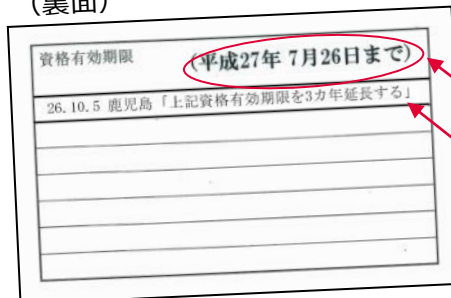
申込み：受講を希望される方は、事前に下記へお申込みください。

また、受講の際は、認定証が必要となります。紛失された方は、お問い合わせください。

(表面)



(裏面)



有効期限は、認定証の裏面にあります。

最初の有効期限

延長された有効期限は  
平成30年7月26日まで



心肺蘇生とAEDの使い方



包帯法（骨折の固定など）